

～～～ 第65回信越アマチュア局非常通信コンテスト コメント ～～～

<<< 新潟県内局 >>>

- 今年は例年になく参加者が少ないように思いました
- 集計ごくろ一様です。K\*Kさんにガンバレと言われ昨年より多く得点しました。
- 今年もコンテストに参加出来て良かった。
- 3.5～1200まで揃えて山岳移動で参加しましたが、雨で残念でした。今年は参加局が少なかったように感じます。
- このコンテストの時にしかつながらない局長さんもおられて、休むわけにはいかないですね。冬の風でアンテナもダメージを受けましたが、144, 430MHzだけでもと思い参加しました。関係者の皆様、誠に疲れさまです。
- 初めての交信でドキドキでしたが、何とか参加する事ができました。
- コンテスト参加局が少なく感じた。信越本部コンテストの日程と新潟県支部の会議が重なり、全日程参加できなかった。
- 悪天候のせいか移動局が少なく盛り上がり欠けたように感じました。お相手いただきました各局さんありがとうございました。
- 毎回同じ意見ですが、コンテスト開始時間を早めて頂きたいです。
- 天気は良くありませんでしたが、ノンビリとコンテストを楽しめました。
- アンテナが使用不能でした。
- ログ記入例の使用電波欄の3行と4行目はテレコでないか。
- 今回も電文を10用意して10局と交信して頂きました。交信頂きました各局、ありがとうございました。
- GPの高さ調整 昨年より1m高くなったものの成果は期待ほど無かった。今年は新潟市と新発田が聞こえ繋いでもらった。長野県が聞こえて来ない。ANTの性能ダウン!!か。「中」と「エ」を使った電文を送ってみた年もあったが、電文が間に合わず今年は見合わせ、来年はボケ防止を兼ねて挑戦してみたい。和文通話表を使用する機会は限られて来ているから。
- 今年もチョットダケ参加しました。
- 今年もわずか1局交信のみ。

<<< 長野県内局 >>>

- コンテスト参加者が少なく残念。規約は現状のままでよいですが、参加者を増やすための新たな取り組みが必要ではないかと感じた。
- 土曜日だけのコンテスト。
- 仕事と地区の行事でフルタイムの運用はできなかったです。採点お疲れ様です。
- コンテストルールが厳し「ログの書き方」過ぎて楽しむことが出来ません、万一における非常通信時の正確さは理解できますが、このルールではニューカマーは出られる隙間がありません。もう少し簡略化したルール変更を望みます。
- V,UHF帯では、南信の地からは、はるか新潟県との交信は”夢のまた夢”か？、それどころか、長野の北部、東部との交信もままならず、今回も惨敗？といったところでしょうか！！ 恒例の行事ではありますが、今一度、PRをしていただき、参加局を増やしていきましょう！！
- 参加局が増える方法をみんなで考えたいものです。1、時間短縮。夜中は休みましょう。2、コンテストの前後に、テレビや新聞で取り上げてもらってはどうか。OSOIは防災に関連しますから、取り上げてもらえるのでは？日本一伝統のあるコンテストとしても、若者の参加者を取材してもらってはどうか。アマチュア無線のPRにもなります。ぜひ！
- 今回は常置場所、移動運用共に移動局での運用でしたが、常置場所(設置場所)での運用を固定局、移動での運用を移動局で行った場合(同時送信は行わない)、ルール上問題はありますか。
- コンテストルールが厳しいと言う話で参加者激減、現実にあったルールをお願いしたい。